

2012 年度日本学生支援機構奨学金・法政大学独自の奨学金

出願のてびき（大学院生用）

法政大学

奨学金出願日程（日本学生支援機構・大学独自の奨学金共通）

指定日に出願できない場合は必ず事前にお問い合わせください!

対 象	出 願（ 面 談 ） 受 付	
	日 時	場 所
人文科学研究科 国際文化研究科 社会科学研究科 経済学研究科 法学研究科 政治学研究科 社会学研究科 経営学研究科 政策科学研究科 環境マシナリ研究科 政策創造研究科 公共政策研究科 法務研究科 イノベーション・マシナリ研究科 デザイン工学研究科	4月11日（水）～13日（金） 各日とも 9:30～16:30 研究出張等で上記期間に来校できない方は、 必ず10日（火）17:00までに 学生センター厚生課（03-3264-9488）で 指示を受けてください。	（市ヶ谷キャンパス） 教職員食堂 （58年館2階）
人間社会研究科	4月16日（月）～17日（火） 各日とも 9:00～11:30 12:30～17:00	（多摩キャンパス） 学生センター 多摩学生生活課 （EGG DOME 2階）
工学研究科 情報科学研究科	4月11日（水）～13日（金） 各日とも 9:30～11:30 12:30～16:30	（小金井キャンパス） 管理棟2階会議室 （学生生活課隣接）

1. 提出書類についての質問は、各キャンパスの担当窓口（裏表紙参照）で随時受け付けています。
2. 外国人留学生で法政大学大学院奨学金・法政大学100周年記念大学院特別奨学金の出願をする場合も上記日程で受付します（外国人留学生は、日本学生支援機構奨学金の出願はできません）。
3. 申込書等の書類に記入された個人情報、奨学金の選考に必要な資格の審査確認にのみ使用します。

返還猶予の手続について

2011年度以前の日本学生支援機構奨学生で、下記に該当する方は、支援機構所定の「在学届」を下記期限までに各キャンパス担当窓口へ必ず提出してください。「在学届」の提出により、在学中の返還が猶予されます。

「在学届」は、以前在学していた学校で貸与終了時に受け取った「返還のてびき」に綴られています。

対象者	1. 高校・大学時代に日本学生支援機構（旧 日本育英会）奨学生だった方 2. 卒業（修了）保留者で日本学生支援機構（旧 日本育英会）奨学生だった方
提出期限	2012年4月23日（月） 17:00まで

目 次

✎	出願から採用まで（フローチャート）	2
✎	奨学金概要および出願について	3
I.	日本学生支援機構奨学金（貸与型）	3
	1. 奨学金の概要	
	2. 出願資格・出願についての注意事項	
	3. 出願日程および出願から奨学金を受けるまで	
	4. 優れた業績による返還免除について	
	5. 採用後の振込日について	
II.	法政大学大学院奨学金・法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金（給付）	6
	1. 奨学金の概要	
	2. 出願資格・出願についての注意事項	
	3. 出願日程	
	4. 採用後の書類提出について	
✎	提出書類一覧および説明	8
	1. 提出書類一覧	
	2. 提出書類全般の諸注意	
	3. それぞれの書類に関する説明・諸注意	
	4. 日本学生支援機構奨学金「スカラネット入力用紙」記入上の注意	
✎	家計急変の場合の奨学金および「国の教育ローン」	13
✎	大学独自の奨学金一覧（2012 年度募集予定）	14
✎	民間奨学財団・地方公共団体奨学金	15
✎	2011 年度 奨学金出願・採用者数一覧	16
✎	奨学金窓口・掲示板案内	19

奨学金を希望する方へ

法政大学が取り扱っている大学院生を対象とする奨学金には、①日本学生支援機構奨学金、②法政大学大学院奨学金・法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金など大学独自の奨学金、③民間奨学財団奨学金 などの各種奨学金があります。いずれの奨学金も、人物・学業成績等が優秀で、経済的理由によって修学が困難な大学院生に対し、給付または貸与により、勉学に専念し、高度な専門性を身に付け、将来有為な社会人として活躍できる人材を育成するために設けられているものです。

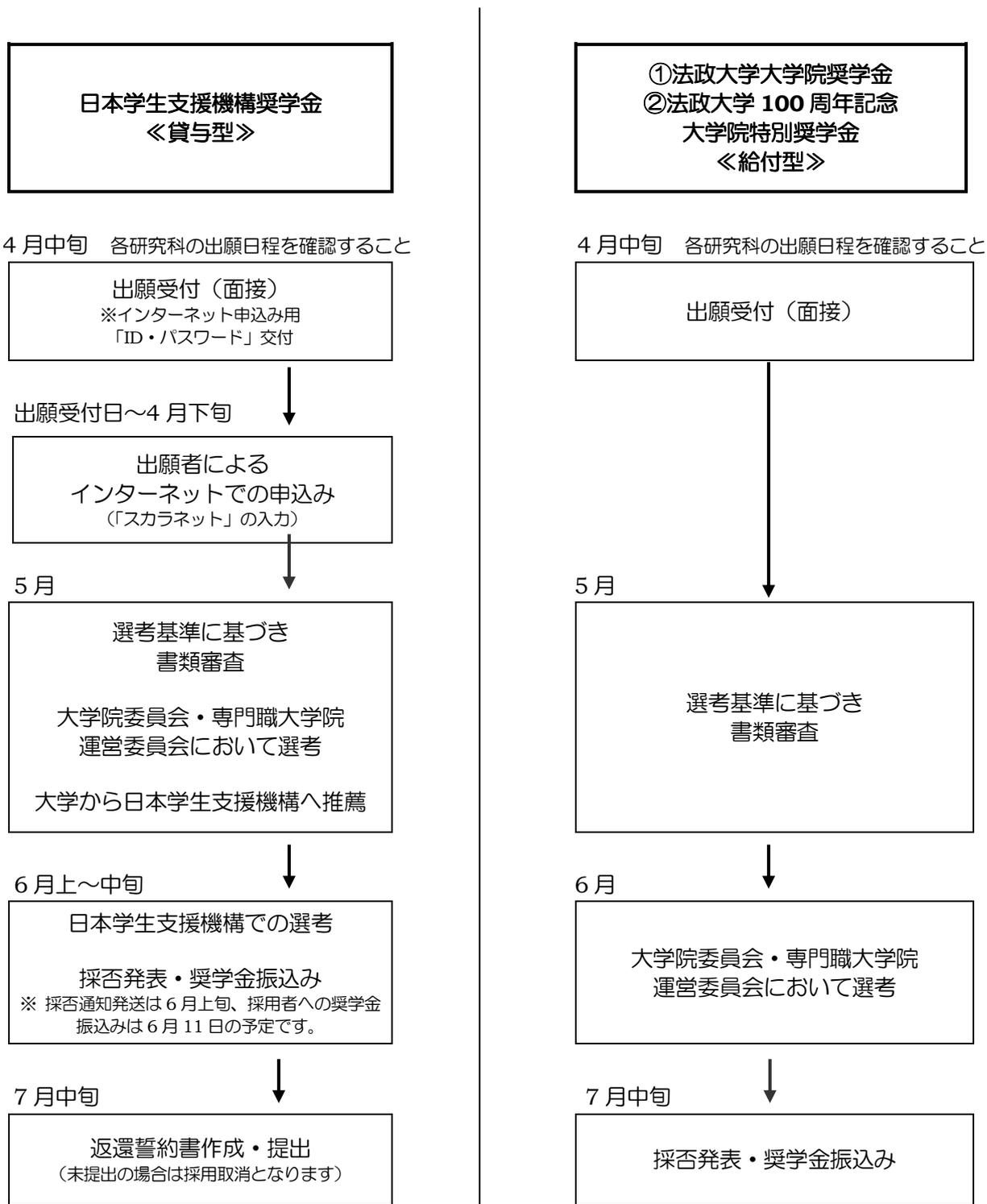
この冊子には、それぞれの奨学金について出願から採用・支給までに関することを中心に記載しています。出願にあたっては、それぞれの奨学金の趣旨をよく理解した上で、各自が在学中に要する経費、家族からの援助など、生活設計を十分考慮して申し込みを行ってください。

なお、申込書類の作成にあたっては、本冊子および日本学生支援機構奨学金案内をよく見て、記入してください。また、添付書類に不備のないよう十分注意してください。

※ この冊子で取り扱っている奨学金以外の奨学金は巻末に一覧表を掲載しています。各奨学金の詳細は、各キャンパスの担当窓口にお問合せください。

※ 日本学生支援機構奨学金と大学独自の奨学金は併給可能です。その他の奨学金との併給可否は各募集要項等で確認してください。

✎ 出願から採用まで（フローチャート）



（注1）法政大学大学院奨学金および法政大学100周年記念大学院特別奨学金の採用者は、年度末に、指導教員（指導教員が決定していない場合は専攻主任）に研究成果報告書を提出していただきます。詳細は採用決定者に別途通知します。

（注2）専門職大学院イノベーション・マネジメント専攻の方は、法政大学大学院奨学金・法政大学100周年記念大学院特別奨学金の選考時期が上記とは異なり、採否通知・奨学金振込みは2013年3月になる予定です。

✎ 奨学金概要および出願について

奨学金には貸与型（返還の義務があるもの）と給付型（返還が不要なもの）があります。この冊子では「Ⅰ. 日本学生支援機構奨学金（貸与型）」および「Ⅱ. 法政大学大学院奨学金・法政大学100周年記念大学院特別奨学金（給付型）」の出願について詳しく説明します。その他の奨学金については14～15ページに一覧表を掲載していますので、そちらを参照してください。

Ⅰ. 日本学生支援機構奨学金（貸与型）

1. 奨学金の概要

日本学生支援機構奨学金とは、国の育英奨学事業として独立行政法人日本学生支援機構により運営されている奨学金です。この奨学金は貸与型で、無利子貸与の「第一種奨学金」と有利子貸与の「第二種奨学金」の二種類があります。いずれも修了後に返還の義務があります。詳細は同封の日本学生支援機構奨学金案内「奨学金を希望する皆さんへ」や日本学生支援機構ホームページ（<http://www.jasso.go.jp/>）をご覧ください。

《貸与額》

期間	対象学年	種類	貸与月額	
修了までの最短修業年限	修士課程 および 専門職課程	第一種 (無利子)	5万円・8万8千円の中から選択できます。	
		第二種 (有利子)	法務研究科	5万・8万・10万・13万・15万・19万・22万の中から選択できます。
	法務研究科以外		5万・8万・10万・13万・15万の中から選択できます。	
	博士後期課程	第一種 (無利子)	8万円・12万2千円の中から選択できます。	
第二種 (有利子)		5万・8万・10万・13万・15万の中から選択できます。		
入学時のみ	入学時特別増額貸与（有利子） （新生のみ対象） 【重要】この奨学金の利率は、基本月額に係る利率に0.2%上乗せした利率になります。		10万・20万・30万・40万・50万の中から選択できます（有利子貸与）。 下記【入学時特別増額貸与（有利子貸与）の貸与基準】をよく読んでください。	

【入学時特別増額貸与（有利子貸与）の貸与基準】

第一種奨学金または4月貸与始期の第二種奨学金を申し込む新生に限り申請できる奨学金です。ただし下記のいずれかを満たす方に限ります。

- (a) 奨学金申請時の収入金額（本人の定職収入の他、アルバイト収入、奨学金、父母からの援助、預金の取り崩し等を含んだ金額）が120万円以下の方
- (b) (a)以外の方で、日本政策金融公庫の『国の教育ローン』に申請したが、融資を受けられなかった方。この場合、以下の①と②の書類の提出が必要なので、必ず教育ローンの申し込みをしておいてください。その他にも提出していただく書類がありますので、詳細はお問い合わせください。

- ① 日本政策金融公庫の『国の教育ローン』借入申込書のコピー
- ② 融資できない旨が記載された公庫発行の通知文コピー

2. 出願資格・出願についての注意事項

(a) 以下の①②③④に該当する場合は出願資格がありません。

- ① 最短修業年限を超えて在学する者（長期履修3年目・4年目の方は第二種にのみ出願できます）
- ② 外国人留学生
- ③ 原則として、2011年の出願者本人および配偶者（定職収入がある場合）の総収入金額（【提出書類C】2011年の収入実績申告書の総額）が、下記の収入基準を超える場合。ただし、2011年と2012年の収入が大幅に異なる場合は、2012年収入（【提出書類D】2012年の収入見込み申告書の総額）を適用します。

	第一種奨学金（無利子）	第二種奨学金（有利子）
修士・専門職課程	374万円	536万円
博士後期課程	425万円	718万円

- ④ 前籍の大学院で、第一種奨学金を修業年限の全期間貸与を受けて満期になった方で、本学大学院の同課程に再入学した方は、第一種奨学金に出願することはできません（第二種は可）

(b) 本学では、多くの学生が奨学金を受給できるように、「第一種」「第二種」の併給は、原則として認めていません。ただし、特別な理由があり、希望する場合には出願時に奨学金担当窓口に出してください。

(c) 貸与始期は、第一種採用者は4月、第二種採用者は4～9月の間で本人が希望する月からです（第二種で開始月4・5月の希望者は、初回振込日に、月額×遡った月数分が振り込まれます）。

3. 出願日程および出願から奨学金を受けるまで

出願日程は、下記のとおりです。日本学生支援機構奨学金の募集は毎年4月の定期採用のみです。

二次募集はありませんので、希望者は必ず今回の募集時に出願してください。

【出願日程】＊出願場所や受付時間は研究科によって異なります。本冊子表紙で確認してください。

対象研究科	出願日程
下記（人間社会研究科・工学研究科・情報科学研究科）以外の研究科	4月11日（水）～13日（金） 研究出張等で上記期間に来校できない方は、必ず10日（火）17：00までに学生センター厚生課（03-3264-9488）で指示を受けてください。
人間社会研究科	4月16日（月）～17日（火）
工学研究科・情報科学研究科	4月11日（水）～13日（金）

【出願から奨学金受給までの手順】

- (a) 出願締切日までに必要な書類を整え各キャンパスの出願場所に提出してください（出願書類は8ページ参照）。出願時に提出書類の記載内容について質問（面接）します。予めご了承ください。
- (b) 出願書類確認後、インターネット申込み用（「スカラネット」用）の「ユーザID」「パスワード」を交付しますので、指定された期日までに、各自でインターネットによる申込み（入力作業）を行ってください。大学に出願書類を提出しても、指定の期日までにインターネットによる申込みを完了しないと出願したことになりません（出願辞退として取り扱います）。注意してください。
- (c) 採否結果発表および採用者への初回振り込みは6月11日です。以降の振込日は、5ページの「5. 採用後の振込日について」を参照してください。各月の振込日は、「奨学生証」と一緒に配付される「奨学生のしおり(冊子)」でも確認できます。各自で指定口座の通帳記帳などにより入金を確認してください。各月の振込通知等はありません。

(d) 採用者は採用後「返還誓約書」の提出が義務付けられています。「返還誓約書」を指定の期日までに不備なく提出できなかった場合は採用が取り消されます（振込済みの奨学金は全額戻入していただきます）。特に人的保証の場合には、連帯保証人および保証人それぞれの自筆の署名と「印鑑証明書」の提出が必要になります。連帯保証人および保証人の承諾が得られず、返還誓約書が完成しない場合も、採用取消となります。申請時に、連帯保証人・保証人の了承が得られない場合は、機関保証を選択してください。採用後の保証変更（人的保証から機関保証への変更）は、スカラネット入力から返還誓約書提出までの間にやむを得ない事情が発生した場合に限って認められます。やむを得ない事情とは、連帯保証人または保証人が死亡、行方不明または意識不明になった場合です。この場合は、貸与始期に遡り、一括による保証料の支払いが必要になります。なお、採用後に機関保証から人的保証へ変更することはできません。

(e) 採用された場合、満期者（当該年度修了見込みの者等）以外の奨学生全員は、毎年12月下旬に日本学生支援機構作成の「貸与額通知書」と奨学金継続手続き書類を受け取り、指定された期間中に翌年度の奨学金継続希望の有無についてweb入力（送信）しなければなりません。この手続きを怠ると、奨学生の資格を喪失し、廃止となります。

4. 優れた業績による返還免除について

大学院において第一種奨学金の貸与を受け、2012年度中に貸与が終了する学生のうち、在学中に特に優れた業績をあげた者として日本学生支援機構が認定した場合には、奨学金の全額または半額の返還が免除される制度があります。研究分野での顕著な成果や発明・発見のほか、専攻分野に関連した文化・芸術・スポーツにおけるめざましい活躍、専攻分野に関連したボランティア等での顕著な社会貢献等も業績の対象となります。詳細は12月頃に掲示でお知らせします（予定）。

5. 採用後の振込日について

今年度採用になった方の初回振込日は6月11日（月）です。初回振込日には月額×遡った月数分が振込まれます。

月	振込日	月	振込日	月	振込日
4月※	4月 20日（金）	8月	8月 10日（金）	12月	12月 11日（火）
5月※	5月 16日（水）	9月	9月 11日（火）	1月	1月 11日（金）
6月	6月 11日（月）	10月	10月 11日（木）	2月※	2月 8日（金）
7月	7月 11日（水）	11月	11月 9日（金）	3月	3月 8日（金）

※ 採用年度の4-5月は振込がありません。

※ 修了(満期)予定者の3月分は2月振込日に2月分と同時に振り込まれます。

II. 法政大学大学院奨学金（給付型）

法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金（給付型）

1. 奨学金の概要

法政大学大学院奨学金および法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金は本学独自の奨学金制度です。この奨学金は給付型で、返還の必要がありません。ただし、この奨学金の給付を受けた後、当該年度中に休学・退学・除籍等となった場合には、全額または一部の返還の義務が生じます。

採用は 1 年間（給付は年 1 回）で、過年度の出願有無・選考結果を問わず毎年出願できます。

《給付額および採用数》

種 類	選 考 方 法	給付年額	採用数
法政大学大学院奨学金	学業成績・人物ともに優れている者のうちから修学上経済的援助が必要と認められる者を選考します。	20万円	122名
法政大学 100 周年記念 大学院特別奨学金	学業成績・人物ともに極めて優れている者のうちから修学上経済的援助が必要と認められる者を選考します。	工学研究科・情報科学研究科・システムデザイン研究科・デザイン工学研究科： 45万円	37名
		上記以外の研究科： 30万円	

2. 出願資格・出願についての注意事項

- (a) 外国人留学生も出願できます（ただし国費外国人留学生を除く）。
- (b) 当該年度の年間休学者は出願資格がありません。半期休学の場合は半額支給になります。
- (c) 法政大学大学院奨学金については、最短修業年限を超えて在学する者（長期履修3年目以降の方やオーバードクターなど）は選考対象となりません（法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金は選考対象となります）。
- (d) 法政大学大学院奨学金・法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金の出願・提出書類は同一であり、法政大学 100 周年記念大学院特別奨学金を第一希望とみなします。

3. 出願日程

出願日程は、下記のとおりです。二次募集はありません。

【出願日程】＊出願場所や受付時間は研究科によって異なります。本冊子表紙で確認してください。

対象研究科	出願日程
下記（人間社会研究科・工学研究科・情報科学研究科）以外の研究科	4月11日（水）～13日（金） 研究出張等で上記期間に来校できない方は、必ず10日（火）17:00までに学生センター厚生課（03-3264-9488）で指示を受けてください。
人間社会研究科	4月16日（月）～17日（火）
工学研究科・情報科学研究科	4月11日（水）～13日（金）

【出願から奨学金受給までの手順】

- (a) 出願締切日までに必要な書類を整え各キャンパスの出願場所に提出してください（出願書類は8ページ参照）。出願時に提出書類の記載内容について質問（面接）します。予めご了承ください。
- (b) 採否発表および採用者への振込みは7月下旬です（ただし、専門職大学院イノベーション・マネジ

メント専攻のみ、採否発表および奨学金振込は2013年3月の予定です。

- (c) この奨学金は給付型で、返還の必要がありません。ただし、この奨学金の給付を受けた後、当該年度中に休学・退学・除籍等となった場合には、全額または一部の返還の義務が生じます。
- (d) 法政大学大学院奨学金および法政大学100周年記念大学院特別奨学金の採用者は、年度末に、指導教員（指導教員が決定していない場合は専攻主任）に研究成果報告書を提出していただきます。詳細は採用決定者に別途通知します。
- (e) 本奨学金に採用された方には、別途書類の提出をお願いする場合があります。次項、4. 採用後の書類提出について（お願い）をご覧ください。

4. 採用後の書類提出について（お願い）

法政大学大学院奨学金および法政大学100周年記念大学院特別奨学金は「日本私立学校振興・共済事業団」からの補助金を受けている事業です。本奨学金採用者には、「補助金申請のための書類」の提出を依頼する場合がありますので、ご協力をお願いします。「補助金申請のための書類」とは以下の内容になる予定です。

「補助金申請のための書類」

家計支持者（補助金申請に当たっては、大学院生についても出願者の父母両方が家計支持者とされています）の2011年分の収入を確認できる書類（所得証明書、源泉徴収票、確定申告書控え、雇用保険受給資格者証、年金振込通知書など）

詳細については採用後に連絡しますが、別途書類提出の依頼があることを予めご承知おきください。

✎ 提出書類一覧および説明

出願する奨学金に応じて以下の書類を用意し、必要事項を記入した「奨学金出願書類（大学院生用）」封筒に入れて提出してください。この封筒が出願カードを兼ねています。出願日程・出願場所は、本誌表紙に表示してあります。それぞれの書類については「2. 提出書類全般の諸注意」および「3. それぞれの書類に関する説明・諸注意」を熟読して、提出漏れの無いよう気をつけてください。

1. 提出書類一覧

出願する奨学金	提出書類
日本学生支援機構奨学金 (以下、機構奨学金と略す)	A 奨学金振込口座届【提出書類 A】 B 本人および配偶者の最新の「所得証明書」または「非課税証明書」【提出書類 B】 C 2011年(1月～12月)の収入実績申告書【提出書類 C】 D 2012年(1月～12月)の収入見込み申告書【提出書類 D】 E 学業成績証明書(該当者のみ) F 記入済みの「スカラネット入力下書き用紙」とそのコピー G 確認書兼個人信用情報の取扱いに関する同意書 H 指導教員推薦所見
法政大学大学院奨学金・ 法政大学100周年記念大学院 特別奨学金 (以下、大学独自奨学金と略す)	A 奨学金振込口座届【提出書類 A】 B 本人および配偶者の最新の「所得証明書」または「非課税証明書」【提出書類 B】 C 2011年(1月～12月)の収入実績申告書【提出書類 C】 D 2012年(1月～12月)の収入見込み申告書【提出書類 D】 E 学業成績証明書(該当者のみ) I 法政大学大学院・100周年記念大学院特別奨学金申請書【提出書類 I】 J 研究計画書・指導教員推薦書【提出書類 J】

2. 提出書類全般の諸注意

- (a) 事前に提出書類のチェックを十分に行ってください。書類が不備の場合は、再提出となります。指示された再提出締切日までに書類が提出されない場合は、出願自体が無効となります。
- (b) 提出書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。
- (c) 提出書類は、黒または青のボールペンで記入してください。
- (d) 記入にあたっては、**必ず出願者本人が記入**してください。代筆は認めません。
- (e) 書類に押印する印鑑は**必ず朱肉用印鑑を使用**してください(シャチハタなどのスタンプ印は使用不可)。
- (f) 記入を間違えた場合は、二重線を引いてその上に訂正印(上記「e.」で使用した印)を押印し、余白に記入し直してください。**修正液・修正テープ等は絶対に使用しないでください。**
- (g) 提出書類の記載内容について、出願時、または書類審査時に質問(面接)します。予めご了承ください。
- (h) 書類提出日には、書類に使用した本人の印鑑を持参ください。
- (i) 不明な点は事前に各キャンパスの担当窓口(本誌裏表紙参照)にお問合せください。

3. それぞれの書類に関する説明・諸注意

(機構奨学金・大学独自奨学金共通)

A 奨学金振込口座届【提出書類A】

奨学生として採用された場合の奨学金振込先になります。全員提出が必要です。

【提出書類A】に記入し、奨学金出願者（院生本人）名義の普通口座の通帳の銀行名・支店名・口座番号・名義がわかるページのコピーを貼付してください。

普通銀行（都銀、地銀、第二地銀）・信用金庫・労働金庫に限ります（ゆうちょ銀行、ネット銀行、外資系銀行、信託銀行、JA等は不可）。口座は本人名義の普通預金口座（総合口座を含む）に限ります（貯蓄預金口座、当座預金口座は不可）。銀行の統廃合に注意し、正しい情報を記入してください。

(機構奨学金・大学独自奨学金共通)

B 本人および配偶者の最新の「所得証明書」または「非課税証明書」【提出書類B】

本人および配偶者の収入の有無、収入の種類（給与収入・営業収入等）を確認します。【提出書類B】に添付して全員提出（配偶者がいる場合は配偶者分も提出が必要です）。収入がない場合は「非課税証明書」を提出することにより、収入がないことの証明になります。「所得証明書」「非課税証明書」は市区町村役場で発行しています（コピー不可）。

(機構奨学金・大学独自奨学金共通)

C 2011年（2011年1月～12月）の収入実績申告書【提出書類C】

奨学生選考時の家計基準は、本人および配偶者（定職収入がある配偶者がいる場合のみ）の2011年分（1月～12月）の収入金額が基準になります。【提出書類C】に記入し、以下のとおり必要書類を添えて全員が提出してください（添付書類はコピー可）。

- (a) 出願者本人が定職に就いている場合
2011年分の「源泉徴収票」または「確定申告書控え」
- (b) アルバイト収入があった場合
2011年中のアルバイト収入を確認できる書類（例：「源泉徴収票」「年収証明書」「雇用契約書」「辞令」「給与明細書」など）
- (c) 父母からの給付を受けていた場合
【提出書類C】に記入するのみで、確認書類の提出は必要ありません。
- (d) 奨学金を受けていた場合
奨学金受給額が確認できる書類（例：「奨学金採用通知」など）
- (e) 年金や雇用保険を受けていた場合
受給額が確認できる書類（例：「年金額払込通知書（ハガキ）」「雇用保険受給資格証」など）
- (f) 配偶者が定職に就いていた場合
配偶者の2011年分の「源泉徴収票」または「確定申告書控え」

(機構奨学金・大学独自奨学金共通)

D 2012年（2012年1月～12月）の収入見込み申告書【提出書類D】

前述のとおり、本人および配偶者（配偶者は定職収入がある場合のみ）の2011年分（1月～12月）の収入金額が出願基準になりますが、2011年と2012年の収入見込み額が大きく異なる場合には2012年の収入金額を適用します。【提出書類D】に記入し、以下のとおり必要書類を添えて全員が提出してください（添付書類はコピー可）。

- (a) 出願者本人が定職に就いている（いた）が、2011年の収入と2012年の見込収入が大幅に異なる場合（2011年以降に就職・転職・退職等した場合）

2011年の収入と2012年の見込収入が大幅に異なることを証明する書類が必要です。以下①②を添付してください。

①前勤務先の「退職証明書」または退職年月日の記載された「源泉徴収票」

②現勤務先の最新月分の「給与明細書」

(b) アルバイト収入が見込まれる場合

2011年のアルバイト収入と大きく差があると見込まれる場合は、2012年アルバイト収入状況を示す根拠となる計算式(例:時給1,000円×3時間×週2日×月4週×12か月、など)を記入するか、「雇用契約書」「辞令」「給与明細書」など、収入額がわかる書類を添えてください。

(c) 父母からの給付を受ける場合

【提出書類D】に記入するのみで結構です。確認書類の提出は必要ありません。

(d) 奨学金を受ける場合

奨学金受給額が確認できる書類(例:「奨学金採用通知」など)。

ただし、現在申請中のものや、2012年3月までに終了のものは除きます。

(e) 年金や雇用保険を受ける場合

受給額が確認できる書類(例:「年金額払込通知書(ハガキ)」「雇用保険受給資格証」など)

(f) 配偶者が定職に就いている(いた)が、2011年の収入と2012年の見込収入が大幅に異なる場合(2011年以降に就職・転職・退職等した場合)

2011年の収入と2012年の見込収入が大幅に異なることを証明する書類が必要です。以下①②を添付してください。

①前勤務先の「退職証明書」または退職年月日の記載された「源泉徴収票」

②現勤務先の最新月分の「給与明細書」

(機構奨学金・大学独自奨学金共通)

E 学業成績証明書

学業成績証明書は新入生のみ提出してください(ただし、法政大学を1998年以降に卒業した方は提出不要)。2年生以上の方および法政大学を1998年以降に卒業した1年生は、大学内で入手しますので提出は不要です(封筒の旧学籍番号欄に必ず記入しておいてください)。

選考においては、2年生以上は前年度の成績、修士課程および専門職課程1年生は大学(学部)分の成績、博士後期課程1年生は修士課程分の成績を使用します。正課の成績証明書のみが有効です(研究生の成績証明は提出不要)。

(機構奨学金のみ)

F 記入済みの「スカラネット入力下書き用紙」とそのコピー

法政大学独自奨学金のみに申請する場合は提出不要です。

第一種奨学金・第二種奨学金の入力用紙は同一です。本紙12ページの「日本学生支援機構奨学金『スカラネット入力下書き用紙』記入上の注意」および別添の冊子「奨学金を希望する皆さんへ」を参照のうえ、全てを記入した後コピーを1部取り両方とも提出してください。記入事項確認後、原本を返却します。

※ 人的保証の場合、連帯保証人欄及び保証人欄には必ず本人の了承を得てから記入してください。了承が得られない場合は機関保証を選択してください。

※ 所得情報欄は、【提出書類C】および【提出書類D】に記載した額を記入してください。

(機構奨学金のみ)

G 確認書兼個人情報取扱いに関する同意書

法政大学独自奨学金のみに申請する場合は提出不要です。

この書類は第一種と第二種で用紙が異なります。申込む奨学金用の用紙に記入してください。「第一種不採用の場合第二種」で出願する場合は、両方の「確認書兼個人情報取扱いに関する同意書」を提出してください。

(機構奨学金のみ)

H 指導教員推薦所見

法政大学独自奨学金のみに申請する場合は提出不要です。

第一種・第二種共通の用紙です。必ず指導教員に記入してもらってください。指導教員が未定の場合は、履修する授業の担当教員等に依頼してください。

- ※ 出願者本人が定職または週21時間以上のアルバイトに従事する場合は、その仕事が研究に支障がないと認められる旨を明記してもらってください。
- ※ 「第一種不採用の場合第二種」で出願し第二種採用後、第一種追加推薦になった場合は、再度「指導教員推薦所見」を提出していただく必要があります。予めご承知おきください。

(大学独自奨学金のみ)

I 法政大学大学院・100周年記念大学院特別奨学金申請書【提出書類I】

日本学生支援機構奨学金のみに申請する場合は提出不要です。

- ※ 「Ⅱ. 収入状況」欄は、【提出書類C】および【提出書類D】に記載した額を記入してください。

(大学独自奨学金のみ)

J 研究計画書・指導教員推薦書【提出書類J】

日本学生支援機構奨学金のみに申請する場合は提出不要です。

学籍欄および研究計画欄に記入した後、指導教員に研究計画書を確認していただいた上で、署名・捺印してもらってください。指導教員が未定の場合は、所属する研究科専攻主任に依頼してください。

4. 日本学生支援機構奨学金「スカラネット入力下書き用紙」記入上の注意

日本学生支援機構奨学金出願者は、以下の注意点および別添の冊子「奨学金を希望する皆さんへ」を参照して「スカラネット入力下書き用紙」に記入してください。記入後はコピーをとり、記入済み用紙とコピーの両方を提出してください。

【C-保証制度】

連帯保証人（父または母等）および保証人（原則として父母を除く4親等以内の親族で65歳未満の方）を選定できる方は「(1)連帯保証人・保証人を選任します。」を選択してください。連帯保証人・保証人については次項【D-あなたの返還誓約書情報】の注意をよく読んでください。

連帯保証人・保証人を選定できない方は「(2)機関保証に加入します。」を選択してください。機関保証制度を選択すると、保証料が月々の奨学金から毎月天引きされます。採用後に、機関保証から人的保証に変更することはできません。保証制度は慎重に選択してください。

【D-あなたの返還誓約書情報】

採用決定時に交付される「返還誓約書」には、ここに記入（入力）した内容がそのまま出力されます。

「返還誓約書」に出力された後の内容修正は非常に煩雑なので、必ず連帯保証人および保証人に、氏名・生年月日・住所等を確認した上で記入（入力）してください。「返還誓約書」提出時には、連帯保証人および保証人の署名・実印による押印と連帯保証人の印鑑証明書・収入に関する証明書、保証人の印鑑証明書などの提出も必要です。必ず、この件について、予め連帯保証人および保証人の了承を得ておいてください。採用後の保証変更（人的保証から機関保証への変更）は、スカラネット入力から返還誓約書提出までの間にやむを得ない事情が発生した場合に限って認められます（やむを得ない事情とは、連帯保証人または保証人が死亡、行方不明、病気等により意識不明になった場合のみです）。署名・捺印・提出書類が揃わない場合は採用が取り消されますのでくれぐれも注意してください。

【E-奨学金申込情報】

本学では「併用貸与」を認めていません。(4)～(7)は選択しないでください。特別な事情があって希望する場合は各キャンパスの奨学金担当窓口へ申し出てください。

【F-あなたの在学情報】

「(5)研究科の専攻のコード」は、本学では使用していませんので空欄にしてください。

「(6)年次」で、法科大学院の既修者で2年生に入学した方は「1年」と記入してください。

「(7)昼夜課程」は、自分が所属している専攻の昼夜別課程を選択してください。

「(10)修業年限」について、自身の所属課程に応じて記入してください。長期履修生は入学時に選択した修業年限を記入してください。

【G-奨学金貸与情報】

「3. 入学時特別増額貸与奨学金の希望」は新入生のみ選択できます。「はい」を選択すると、日本政策金融公庫の「国の教育ローンを利用できなかったことについて（申告）」等の書類が必要になる場合があります。また入学時特別増額貸与奨学金は通常の第二種奨学金より高い利率が適用されます（本紙3ページ参照）。真に必要なかどうかよく考えて選択してください。

【I-あなたの所得情報】

収入金額については、前年は【提出書類C】を、本年見込は【提出書類D】を、それぞれ確認しながら、同じ内容を記入してください。

【J-あなたの研究情報】

「3. これまでの研究内容」については、修士課程1年生および専門職課程1年生は記入不要です。

また、法科大学院の既修者で2年生に入学した方も記入不要です。博士課程1年生は記入してください。

【K-家庭事情情報】

全員必ず記入してください。住宅ローン負担は奨学金希望理由として認められません。

【O-緊急・応急採用情報】

4月の定期採用への出願者は記入不要です。

家計急変の場合の奨学金および「国の教育ローン」

家計を支えている者が、失職・破産・会社の倒産・病気・死亡等または火災・風水害による被災等により、収入が激減した、または激減することが予測される場合などに、以下の奨学金や融資制度が利用できます。

1. 日本学生支援機構 緊急採用・応急採用奨学金

対象は、家計急変の事由が発生してから12ヶ月以内の方（外国人留学生を除く）です。

緊急採用奨学金（無利子）の内容は、日本学生支援機構奨学金の「第一種奨学金」と同一です。貸与期間は、家計急変の理由が発生した月以降で申込者が希望する月から2013年3月までとなります（ただし、継続願を提出することにより翌年度以降も貸与を継続することができます）。

応急採用奨学金（有利子）の内容は、日本学生支援機構奨学金の「第二種奨学金」と同一です。貸与期間は、家計急変の理由が発生した月以降で申込者が希望する月からとし、貸与期間は課程修了時まで可能です。

2. 国の教育ローン

日本政策金融公庫が取り扱う融資制度です（年利 2.55% 2012 年 2 月 10 日現在）。日本政策金融公庫への申し込みは随時可能ですが、契約は家計支持者と公庫との間で行われます。詳細については、以下の教育ローン専用ダイヤルに直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター ナビダイヤル 0570-008656 または TEL 03-5321-8656 ホームページ http://www.jfc.go.jp/k/
--

✎ 大学独自の奨学金（2012年度募集予定）

奨学金の名称	金額（年額）	採用期間	採用予定数	採用学年	応募時期（応募先）	応募・採用条件
※ 法政大学 大学院奨学金	一律20万円	1ヵ年	122名	全学年	4月 （厚生課） （多摩・小金井 学生生活課）	学業成績・人物ともに優れている者のうちから修学上経済的援助が必要と認められる者
※ 法政大学 100周年記念 大学院特別奨学金	文系30万円 理工系45万円	1ヵ年	37名	全学年	4月 （厚生課） （多摩・小金井 学生生活課）	学業成績・人物ともに極めて優れている者のうちから修学上経済的援助が必要と認められる者
法務研究科奨学金 （入学時特別奨学金）	108万円 54万円	1ヵ年	若干名	新入生	法科大学院 で選抜する	法務研究科に在籍し、入学時において特に優れた成績の者
法務研究科奨学金 （成績優秀者奨学金）	108万円 50万円	1ヵ年	若干名	在学生	法科大学院 で選抜する	法務研究科に在学し、優れた成績の者
専門職大学院 奨学金	30万円 （イハ-ヨソ・マサ ジメト専攻）	1ヵ年	若干名	全学年	イハ-ヨソ・マサ ジメト専攻で 選抜する	イハ-ヨソ・マサ ジメト専攻に在籍し成績が特に優れた者
金 洛 洙 奨 学 金	36万円	1ヵ年	10名	全学年	5月下旬 （大学院課）	政治学研究科在学者で韓国籍又は朝鮮籍の者5名、および日本国籍の者5名（計10名）
法政大学 政策創造研究科 奨学金	各年度の奨学金 原資により 異なる	1ヵ年	各年度の 奨学金原 資により 異なる	全学年	1月下旬 （政策創造 研究科）	当該年度内に法政大学大学院奨学金、法政大学100周年記念奨学金の受給を受けていない者
法政大学大学院 静岡テラトキャンパス 特別奨学金	30万円	1ヵ年	対象者 全員	全学年	年2回（前期 と後期）申請が 必要で、各回 15万円、年間 総額30万円 を支給する。	静岡テラトキャンパスで受講する政策創造研究科、イハ-ヨソ・マサジメト専攻の学生で、科目単位数が修了時まで14単位以上取得見込みの者。過去に2回の本奨学金の給付を受けた者を除く。

（注）上記掲載の大学独自の奨学金は、全て返還義務のない給付奨学金です。

（注）※の法政大学大学院奨学金と法政大学100周年記念大学院特別奨学金は同時出願で、法政大学100周年記念大学院特別奨学金を第一志望として先に選考します。詳細は本誌6ページからの説明で確認してください。

（注）金洛洙奨学金は、本学大学院修了生の金洛洙氏からの寄付金をもとに行っている給付奨学金です。

📎 民間奨学財団・地方公共団体奨学金

民間奨学財団が設置している奨学金は、本学に推薦依頼があり次第、奨学金掲示板で募集を行います。大学からの推薦人数制限があるために学内選考するもの、推薦人数に制限がなく学内選考をしないもの、大学を通さず希望者が直接応募するものなど、奨学金によって異なります。詳細は、市ヶ谷キャンパスは大学院事務部大学院課・専門職大学院課または学生センター厚生課、多摩キャンパスは学生センター多摩学生生活課、小金井キャンパスは学生センター小金井学生生活課へ直接お問い合わせください。外国人留学生については国際交流センターで取り扱っている奨学金もあります。

また、地方自治体の教育委員会・法人組織が募集する奨学金の中には、本学を通さずに募集するものもありますので、各自で出身地などの地方公共団体に直接問い合わせてください。

主な民間奨学財団・地方公共団体奨学金（2011年度実績に基づき作成）【抜粋】

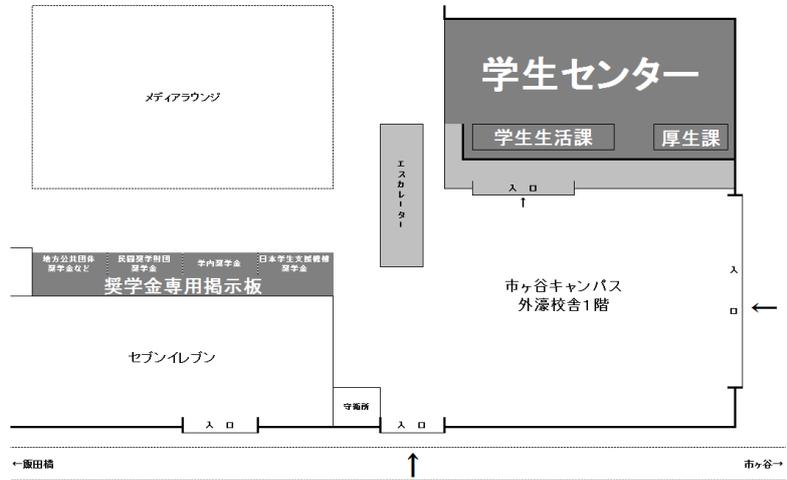
奨学団体の名称	設立経緯・出願資格等	給付額・貸与額	2011年度採用状況
日本証券奨学財団	(社)日本証券業協会の発足に伴い各社の基金拠出により設立された。修士・博士後期1年生対象	(月額給付) 修士 40,000円 博士 45,000円 *自宅外通学者はそれぞれプラス10,000円	学内選考あり 0名
朝鮮奨学会	日本で勉学している同胞学生を支援するための奨学育英機関。大学院の正規課程に在籍している韓国人・朝鮮人学生。	(月額給付) 修士 40,000円 博士 70,000円	学内選考あり 0名
中村積善会	故中村静尾氏の遺志により設立された	(月額給付) 40,000円	学内選考あり 1名
電通育英会	(株)電通第四代社長、故吉田秀雄氏の「事業の終局の目標は人材の育成である」という信条を実現するために設立された。	(月額給付) 80,000円	学内選考あり 1名
松尾金蔵記念奨学基金	文学、哲学、言語学、人文地理学、教育学、心理学、社会学、史学を学ぶ、修士課程及び博士課程1年生	(年額給付) 1,000,000円	学内選考あり 0名
守谷育英会	(株)守谷商会により設立された。	(月額給付) 100,000円	学内選考あり 0名
同盟育成会古野奨学金	ジャーナリズムあるいはマスメディアに関する研究に従事している大学院生	(月額給付) 50,000円	学内選考あり 0名
平和中島財団	日本の大学に在籍する私費留学生で、学業・人物ともに優れているもの	(月額給付) 120,000円	学内選考あり 1名
廣瀬育英会	廣瀬無線電機(株)の創業者・廣瀬太吉氏の意志により設立された。富山県下の高等学校出身の院生(新入生)対象	(月額貸与) 40,000円	学内選考なし 応募者なし
上越市教育委員会	謙信公アカデミーの理念のもと、明日の上越を担う人材育成を目的とする。上越市、糸魚川市、妙高市の出身者対象	(貸与月額) 100,000円	個人申請
あしなが育英会	保護者等が病氣もしくは災害などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害で働くことが出来なくなった大学院1年生で、本会の大学奨学生だった者	(月額貸与) 80,000円	あしなが育英会での書類審査と面接試験
交通遺児育英会	保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のために働けなくなった家庭の学生	(月額貸与) 50,000円 80,000円 100,000円 から選択	交通育英会での書類審査

2011年度 日本学生支援機構 第二種奨学金 出願者数・採用者数一覧(大学院)

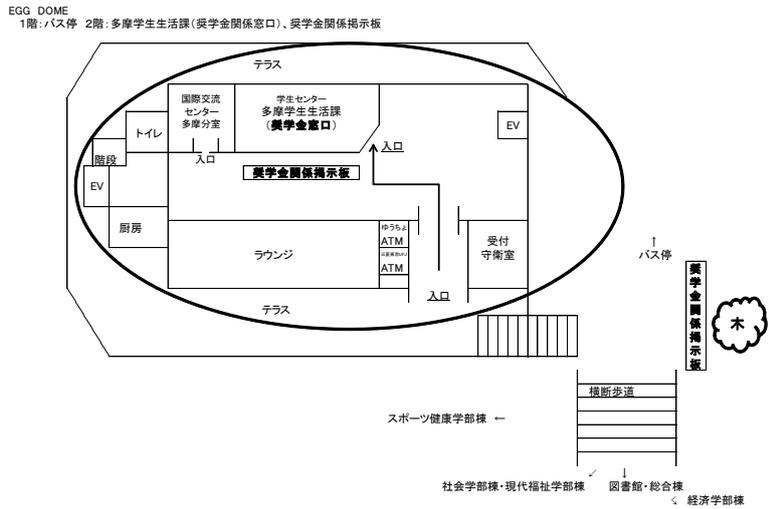
専門職大学院以外	修士課程			修士後期課程						合計①			
	1年			2年以上		1年		2年		3年		合計	
	出願	採用	採用	出願	採用	出願	採用	出願	採用	出願	採用	出願	採用
専門職大学院以外	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際日本学	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人文	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際文化	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経済学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政治学	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
政策科学	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境マネジメント	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
政策創造	25	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デザイン工学	3	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0
工学	37	9	4	1	1	10	10	0	0	0	0	0	0
合計 A	73	20	8	2	2	22	22	2	2	0	0	2	2
人間社会	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
人間福祉	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 B	3	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
機械工学	14	3	0	0	0	14	3	0	0	0	0	0	0
物質化学	17	6	0	0	0	17	6	0	0	0	0	0	0
電気工学	15	2	1	1	16	3	0	0	0	0	0	0	0
情報電子	19	5	1	0	20	5	0	0	0	0	0	0	0
システム工学	28	9	1	0	29	9	0	0	0	0	0	0	0
生命機能学	4	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0
建設工学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
システムデザイン	97	26	3	1	100	27	0	0	0	0	0	0	0
情報科学	9	3	1	0	10	3	0	0	0	0	0	0	0
合計 C	106	29	4	1	110	30	0	0	0	0	0	0	0
合計 D (=A+B+C)	182	49	13	4	195	53	2	2	0	0	0	2	2
専門職大学院	6	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計 E	188	52	16	7	205	56	2	2	0	0	0	2	2
合計 F (=E+F)	239	70	17	7	239	70	2	2	0	0	0	2	2

✎ 窓口・掲示板案内

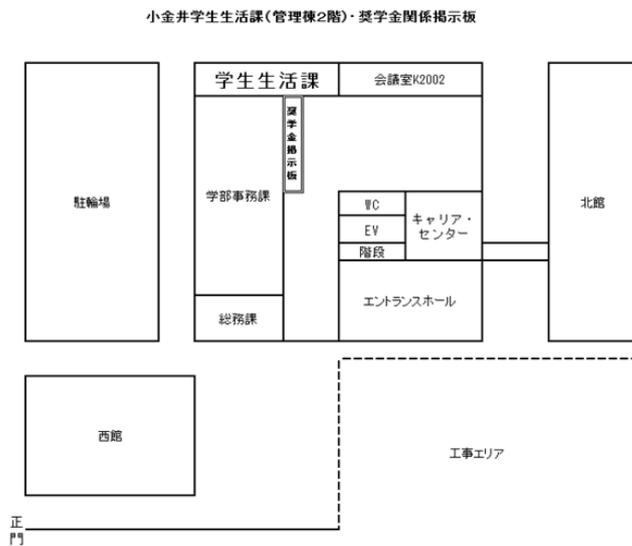
市ヶ谷キャンパス
 学生センター厚生課
 外濠校舎 1階
 03-3264-9486



多摩キャンパス
 学生センター多摩学生生活課
 EGG DOME 2階
 042-783-2151



小金井キャンパス
 学生センター小金井学生生活課
 管理棟 2階
 042-387-6011



各キャンパスの担当窓口

キャンパス	担当部局名	連絡先	取扱時間
(市ヶ谷) 人文科学研究科 国際文化研究科 社会科学研究科 経済学研究科 法学研究科 政治学研究科 社会学研究科 経営学研究科 政策科学研究科 環境マネジメント研究科 政策創造研究科 公共政策研究科 法務研究科 イノベーション・マネジメント研究科 デザイン工学研究科	学生センター厚生課 〒102-8160 千代田区富士見 2-17-1	電話 03-3264-9488	月曜日～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～12:00
(多摩) 人間社会研究科	学生センター 多摩学生生活課 〒194-0298 町田市相原町 4342	電話 042-783-2151	月曜日～金曜日 9:00～17:00 〈休憩時間 11:30～12:30〉 土曜日 9:00～12:00
(小金井) 工学研究科 情報科学研究科	学生センター 小金井学生生活課 〒184-8584 小金井市梶野町 3-7-2	電話 042-387-6011	月曜日～金曜日 9:00～17:00 〈休憩時間 11:30～12:30〉 土曜日 9:00～12:00

法政大学

奨学金案内 <大学院生用> 2012年度